

## 【 臨床研究に関する情報の公開 】

集中治療室での入院後に当院回復期病棟を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究  
ご協力のお願いについて

項目	内容
1. 研究課題名	集中治療後症候群（PICS:Post Intensive Care Syndrome1）に対する回復期リハビリテーションの有効性の検討
2. 研究の対象者	集中治療室で治療を受けた後、2021年4月1日～2023年5月31日の期間に当院回復期リハビリテーションに入院された症例
3. 研究期間	2021年4月1日～2024年3月31日（症例取り込み期間は2021年4月1日～2023年5月31日）
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所：関西電力病院 リハビリテーション部 研究責任技師：リハビリテーション部副主任 松木良介 共同研究機関：なし
5. 本研究の意義・目的	本研究の目的は、PICSを呈した症例に対して回復期リハビリテーションが有効かどうかを検証することです。
6. 研究の方法	本研究は、後方視的観察研究であり、当院の回復期リハビリテーション病棟に入院されたか症例のうち、集中治療室での治療を受けた経験のある症例を抽出して、回復期リハビリテーションで評価されるアウトカムである身体機能や日常生活動作能力の変化について調査します。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	<ul style="list-style-type: none"><li>・診療録：診断名、年齢、体格、性別、ICU滞在期間、薬物療法、食事療法、APACHE II、SOFA score</li><li>・問診：MMSE、HADS、IES-R、健康関連QOL（EQ-5D）</li><li>・身体機能：四肢筋力（MRSscore）、握力、バランス能力（SPPB）、運動耐容能（6分間歩行試験）</li><li>・日常生活動作能力：FIM、Barthel Index、FSS-ICU</li></ul>
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	患者様の診療情報・データ等は、解析する前にID・氏名・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、個人が特定できないようにした上で、当院のパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。 データ廃棄の際は完全にデータを消去したことを複数名で確認します。
9. 個人情報の保護について	この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は外部に漏えいすることのないように、慎重に取り扱います。研究結果は個人が特定できない形式で学会や医学雑誌に公表される予定です。研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出下さい。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 リハビリテーション部 松木良介
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 リハビリテーション科 松木 良介 電話：06-6458-5821（代表）